



鶴からの手紙

真鶴中学校だより 第二五八号

2023
12.21
責任者
市川 麻美

「令和五年は どんな年でしたか？」

明日十二月二十二日で二学期が終了します。今年は大流行の並
びで、少し早く冬休みに入ります。

五月に新型コロナウイルス感染
症が五類となり、社会が以前の形を
取り戻していく中、本校ではすべて
元通りの形というより、必要に応じて
新しい形での学校運営を心がけて
きました。

夏から秋にかけてインフルエン
ザも流行し、学級閉鎖を余儀なくさ
れて心配な時期もありましたが、な
んとかここまですべて乗り越えたいとこ
ろです。どうか、冬休み中の健康管
理、引き続きしっかりとよろしくお
願います。

さて、毎年恒例の『今年の漢字』
ですが、あまり話題にしたい文字で
はありませんでした・・・『税』が
第一位、続いて『暑』、本当にいっ
までも暑かったですよね。未だ解決
のめどが立たない、ウクライナ等で
続く『戦』も多くあげられたそうで
す。悲しいです。先日英語の授業で、

ジョン・レノンの Happy Christmas
が聞こえてきました。私も英語の授
業では十二月になるとこの曲を歌
っていました。War is over, if you
want it... 皆が望みさえすれば、
戦争は終わるのに・・・みんなで
強く願ひましょう。

プロ野球チーム阪神タイガース
ファンの皆さんのみならず、『虎』
も多かったとのこと、これは明るい
話題でした。

ところで、「真鶴子ども宣言」を知
っていますか？豊かな自然と歴史
ある我が町真鶴をふるさととして
愛し、誇りを持ってほしい、そんな
願いを込めて・・・

自分や家族・友達、すべての命を
大切に、いつも笑顔を忘れずに、き
まりや約束を守り・・・真鶴の未来
をつくり、次の世代につなぎま
す・・・とされています。

真鶴に生きる真中生、この冬休み、
自分を大切に、そして周りの人も大
切に、すべて当たり前にあることに
感謝し、素敵な年末年始にしてくだ
さい。

「新人大会を終えて」

九月から十一月にかけて、中体連
主催の新人大会が行われていまし
た。本校からは、サッカー部、バレ
ーボール部、バスケットボール部が
参加しました。ちょうどインフルエ
ンザの流行と重なり、本校含めどの
学校でも厳しいチーム事情だった
ようです。

各部の代表の感想を紹介します。

私たちは「県大会出場」積極的
という目標を立て夏から練習をし
ていました。

十月二十八日に行われた新人戦
では、スタメンがそろわない中で
試合でした。そんな状況でも、一人
ひとりが声をかけ合いチームとし
て戦うことができました。

結果は一回戦負けと悔しい結果
となりました。

まいました
が、ここで
の悔しさを
バネに次の
試合に向け
て、日々の
練習からチ
ームで努力
していき

いと思います。また、目標を達成し
先輩方に良い報告をできるよう一
生懸命取り組んでいきます。

二年一組 関風

私は新人大会を終え、素晴らしい
結果を残すことはできませんでし
たが、その代わりに良い経験をした
と思っています。

私は、新人大会の少し前まで体調
を崩していて、病み明けの大会に
臨みました。

私たちバスケットボール部は部
員が二人と少なく、夏頃から箱根中
学校の皆さんと合同チームを組ん
でいます。しかし、その日に来た人
が合わせて五人でちょうど試合に
出られるぴったりの人数でした。逆
に言えば、その五人が試合に出続
けなければいけません。私は何
度もくじけそうになりましたが、引
退した先輩の姿をそのたびに思い
出して、最後までやりきることがで
きました。

私がした経験は、「簡単に諦めな
いこと」です。これからもたくさん
の経験を積み、そのたび諦めず、最
後までやりきることが出来る人
になるために、日々の努力を重ねて
いきたいと思っています。

二年一組 中込 こゆき



僕たちサッカー部の大会の結果は、初戦敗退でした。試合では一人ひとりがよく集中してプレーをし、得点は無かったものの0対0で折り返しました。

問題は後半で、チーム全体の集中力が下がってしまい、相手に流れを持たせていかれ、失点が重なり初戦敗退という悔しい結果になってしまいました。サッカークラブには「公式戦二勝」という目標があります。次の大会のために、この大会での結果をチーム全体で反省し必ず次の大会に繋げようと思います。応援よろしくお願ひします。



二年一組 春原朝陽

「仕事とは...」
職業人講話を聞いて

毎年一年生がキャリア教育の一環として、職業人講話を開催します。今年も十二月五日に地域の方三名に、仕事についてお話をさせていただきました。

今回の授業で仕事の大切さや経験を知ることができました。たくさん経験を重ねて学ぶことがとても大切だと感じました。仕事が大変なことは知っていましたが、それをさらに実感でき、具体的にどんなことをするのか、知ることができました。

一年一組 田代斗真

話を聞く中で、その人たちの苦勞や努力が伝わってきました。特に自分たち町民のことを考えて会議を重ね、話し合ってくれているということが分かった時は、感謝の気持ちでいっぱいになりました。わたしたち町民は町のために一生懸命会議などを行ってくれているということを忘れないようにしたいと思います。

一年一組 滝本愛咲

今回職業人講話でお話を聞かせてもらったのは、どれも簡単ではない大変なお仕事であるにもかかわらず、かかわらずやりがいを持って働いていること



が素敵だと思いました。特に、ロッキーマリンからのお話では、お客さんの笑顔と、新しい知識を貰っているとおっしゃっていました。仕事をしていて、お客さんとそして自分にも新しいものが手に入っている、そんな職業に僕もついてみたいと思います。また、JAからは今は農家の高齢化が進み、跡継ぎもいないと聞きました。日本のミカンを守るため、若い僕たちが向き合っていく必要があると考えました。

一年一組 青木虎太郎

令和6年2月17日に真鶴町教育委員会主催の第3回『教育を語り合う会』が開催されます。

魅力ある一貫教育校の実現に向け、学校や教育について町民みんなで考える場になります。

【テーマ】

「どんな校舎だったらワクワクするかな？」

「どんな施設があったら、学校に行きたくなくなるかな？」

午前9時30分から午前11時30分まで。

町民センター3階 講堂で開催予定です。

興味のある方(生徒も大歓迎)は、ぜひ参加してみてください。

ちゅうこうせい そうだん
「中高生SNS相談 @かながわ」

悩みがあるときも、
ないときも、
ちょっと誰かに
つぶやきたいときって
あるよね...

相談してよかった!

クリック!
つぶやく!!!
心が晴れる!!!

LINE @619evfcw

神奈川県教育委員会

神奈川県教育委員会
からのお知らせ

『中高生SNS相談@かながわ』は、悩みがあるときはもちろん、ちょっと誰かに相談したいときや、聞いてもらいたいときに、LINEで気軽に利用できる相談先です。秘密は守られます。興味がある人は、まずはお友達登録をしてみてください。